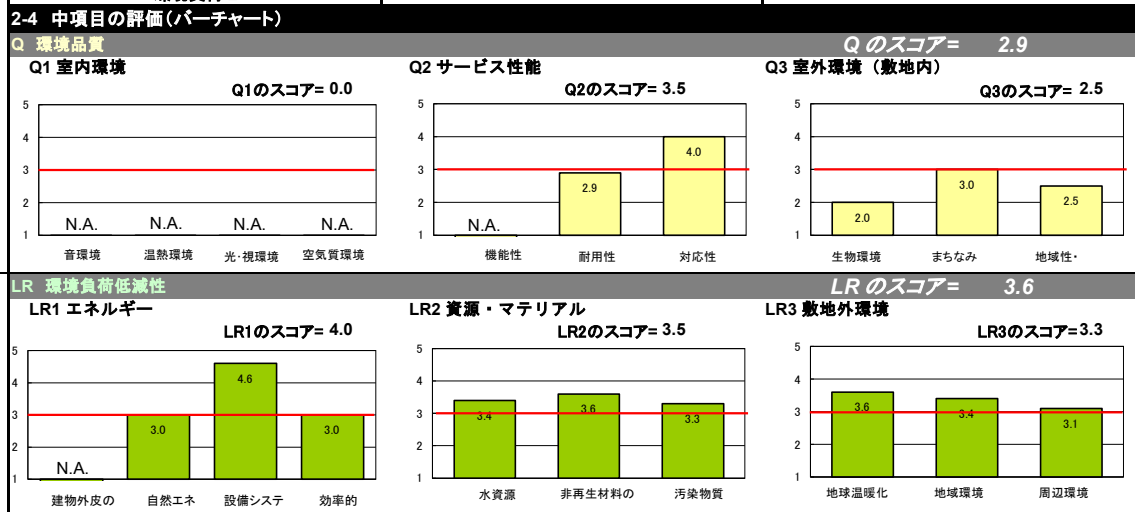
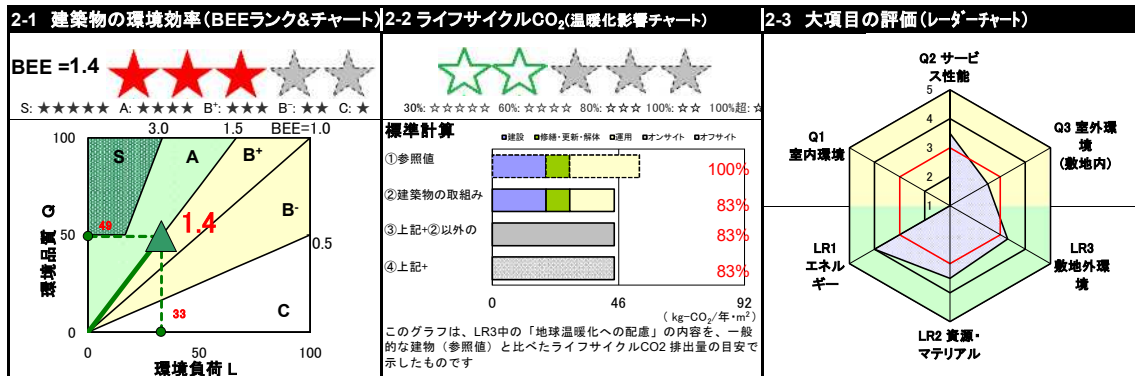


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東海メディカルプロダクツ春日井大手事業所	階数	地下0階地上3階
建設地	愛知県春日井市大手町字東島927番地、928番1、928番2、大手町字甲斐作1205番1、1209番1、1210番1、1210番2、1211番1、1211番2、1212番1、1213番4	構造	S造
用途地域	用途地域の指定のない区域、防火地域指定なし	平均居住人員	170 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026/3/31 予定	評価の実施日	2025/5/6
敷地面積	3,409 m ²	作成者	山本 陽介
建築面積	1,792 m ²	確認日	2025/7/14
延床面積	4,795 m ²	確認者	山本 陽介



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.6	2.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.4	1.0
	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
	47.8 %
	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
	0.0 %
	<外装材に使用した地域性のある材料>
	なし
	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>
	なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
東海メディカルプロダクツ春日井大手事業所

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体	
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.9	
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル				3.0	-	-	-	-		
1.2 遮音				-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-		
1.3 吸音				-	-	-	-	-		
2 温熱環境				-	-	-	-	-		
2.1 室温制御				-	-	-	-	-		
1 室温				3.0	-	-	-	-		
2 外皮性能				3.0	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	-	-	-	-		
2.3 空調方式				3.0	-	-	-	-		
3 光・視環境				-	-	-	-	-		
3.1 昼光利用				-	-	-	-	-		
1 昼光率				3.0	-	-	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	-	-	-	-		
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-		
1 昼光制御				5.0	-	-	-	-		
3.3 照度				3.0	-	-	-	-		
3.4 照明制御				3.0	-	-	-	-		
4 空気質環境				-	-	-	-	-		
4.1 発生源対策				-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	-	-	-	-		
4.2 換気				-	-	-	-	-		
1 換気量				3.0	-	-	-	-		
2 自然換気性能				3.0	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	-	-	-	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	-	0.43	-	-	3.5	
1 機能性				-	-	-	-	-		
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		独自		3.0	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-		
3 内装計画				3.0	-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				0.5	2.9	0.52	-	-	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.0	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				-	2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				-	3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	5.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23	-	-		
2.4 信頼性				0.1	2.8	0.19	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	2.0	0.20	-	-		
		②		耐震クラスA。						

3 対応性・更新性				0.4	4.0	0.48				4.0	
3.1 空間のゆとり			②	0.3	4.0	0.31	-	-	-		
1	階高のゆとり	-		4.0	0.60						
2	空間の形状・自由さ	3.0		4.0	0.40						
3.2 荷重のゆとり				3.0	5.0	0.31					
3.3 設備の更新性				0.3	3.4	0.38	-	-	-		
1	空調配管の更新性	-		3.0	0.17						
2	給排水管の更新性	3.0		3.0	0.17						
3	電気配線の更新性	3.0		5.0	0.11						
4	通信配線の更新性	3.0		5.0	0.11						
5	設備機器の更新性	3.0		3.0	0.22						
6	バックアップスペースの確保	3.0	3.0	0.22							
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.57	-	-	-	2.5	
1 生物環境の保全と創出				独自③	-	2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮				独自④	-	3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					0.3	2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				独自④	-	2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上					-	3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性						-		-	-	3.6	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.0	
1 建物外皮の熱負荷抑制					3.0	-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.13	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化					BEIm=0.64	3.0	4.6	0.63	-	-	4.6
4 効率的運用					0.2	3.0	0.25	-	-	3.0	
集合住宅以外への評価					1.0	3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング					3.0	3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価					-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング					-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制					-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.5	
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15	-	-	3.4	
1.1 節水					3.0	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.6	0.63	-	-	3.6	
2.1 材料使用量の削減				② 独自	-	2.0	0.07	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.25	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					-	3.0	0.21	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					3.0	4.0	0.21	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					3.0	5.0	0.25	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.3	0.22	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.5	0.68	-	-		
1 消火剤					-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)					-	4.0	0.50	-	-		
3 冷媒					3.0	3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.3	
1 地球温暖化への配慮				①	-	3.6	0.33	-	-	3.6	
2 地域環境への配慮					0.3	3.4	0.33	-	-	3.4	
2.1 大気汚染防止					-	5.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善					-	3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.7	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減				独自	-	3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制				独自	-	4.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制					-	1.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮					0.3	3.1	0.33	-	-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40	-	-		
1 騒音				独自	-	3.0	1.00	-	-		
2 振動				独自	-	-	-	-	-		
3 悪臭					-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制					-	3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制					-	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制					-	3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制					0.2	3.7	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					-	4.0	0.70	-	-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30	-	-		

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

東海メディカルプロダクツ春日井大手事業所

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	3.4
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.0	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:47.81%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 東海メディカルプロダクツ春日井大手事業所

計画上の配慮事項	
総合	ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。
Q1 室内環境	評価対象外。
Q2 サービス性能	耐震クラスA。 階高:3.7m以上、3.9m未満。 $0.1 \leq [\text{壁長さ比率}] < 0.3$ 。 配管内配線により構造材・仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。
LR1 エネルギー	BEIm=0.64。
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 床:ビニル床シート、断熱材 LGSとOAフロアを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率83% 燃焼機器を使用していない。
その他	特になし。